

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

森のちから

グループの名称

九州普請研究会

直近採択グループ番号

04-0025-0673

(グループ代表者)

代表者名

江上 慎介

代表者印

代表者所属先

有限会社 image

代表者所在地

福岡県柳川市袋町1番地1

代表者電話番号

0944-73-3795

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社 江上組

事務局担当者名

井上 真由美

印

事務局郵便番号

835-0024

事務局所在地

福岡県みやま市瀬高町下庄2460番地の1

事務局電話番号

0944-63-7557

事務局FAX

0944-62-5156

事務局担当者E-mail

info@egamigumi.co.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		11	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	11	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		9	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	9	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	11棟				
			1408㎡				
		申請が未確定	20棟				
			2560㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	各社2棟配分後、先約順次配分						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	7戸	交付申請戸数	6戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	6戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 森のちから	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県・佐賀県・熊本県・大分県・宮崎県・長崎県・鹿児島県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 九州普請研究会	(結成年) 2013 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0025-0673	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○ 九州に適した長期優良住宅の推進 ○ 全棟で構造計算・許容応力度計算による耐震等級2以上を確保する。 ○ 基礎の構造計算を行い、ベタ基礎土間180mm立上り幅160mmの基礎とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○ 主要構造材80%以上、二次部材50%以上の九州産地域材とする。 ○ 湯水対策として節水器具を利用し、水利用を大幅削減する住宅とする。 ○ 瓦工事がある場合は、台風対策として瓦の釘止めを全て止める。 ○ 地盤改良時に木杭が施工可能な場合は、国産の木杭を使用する。 ○ 省エネルギー等級4以上	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	○ 高温多雨で日射量の多い地域であるため、温熱環境に側した屋根や庇を考慮した形とする。	○
④①～③の背景	○ 九州は温暖多雨で森林の育成に恵まれ、スキ・ヒノキ等の人口造林・育成技術が発達し、地域材の供給が安定した地域である。また、温熱環境も厳しく、台風の接近・通過も多い地域である。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○ 福岡・熊本はイ草の産地である。畳工事の際は、九州産の畳を推奨する。 ○ 福岡八女和紙を和室の一部への使用を推奨する。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ○ グループで統一したCADを利用して、構造計算・見積書・積算数量を統一し、材料の規格・均一化を図る。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ○ 積算データの統一化により、材料の発注を連結させ、業務の合理化を図る。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ○ CAD・積算データの共有、仕様も共有。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ○ 積算データ共有と材料発注の連結。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ○ CAD・積算データの共有による業務の合理化。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ○ 隔月1度の例会にて、施工・品質・合理化の勉強会。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ○ 構成員の意見集約に当たり、隔月1度の例会の内容に反映させる。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ○ グループ統一のデジタル監理シートによる共通施工基準照合と、写真による記録等、またチェックシートによる監理を行う。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ○ 第三者機関による、配筋及び中間検査を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ○ グループ共通のCADを作成し、構造計算・積算・見積を統一する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ○ デジタル工事監理シートによる現場の見える化を図り、引渡時に施主に提示する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○ 構造見学会・完成内覧会を利用し、構成員の技術・施工の向上を図る。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 森のちから	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県・佐賀県・熊本県・大分県・宮崎県・長崎県・鹿児島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 九州普請研究会	(結成年) 2013 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0025-0673	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ グループ共通の維持保全計画書と住まいの定期点検カレンダーの作成を行う。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ ホームページ及びブログによる情報提供。	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ グループ共通の定期点検カレンダーを定例会にて確認。	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ グループ共通の定期点検カレンダーによる、メンテナンス実施時期の明文化とし、点検項目の蓄積を行う。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ グループ共通のチェックリストによる。	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ グループ共通の定期点検カレンダーを定例会にて確認。	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ 隔月の定例会にて実施。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ 構造見学会・完成内覧会等で実施。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ 構造見学会・完成内覧会等で実施。	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ 定例会及び、グループ共通の維持保全計画書を作成する。	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ グループ共通の維持保全計画書を作成する。	◎
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ グループ内施工業者が倒産・廃業の際には、事務局が引き継ぎできる施工業者を斡旋する。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ 定例会において、瑕疵保険加入の徹底確認 ○ 斡旋・調停・仲裁を受けられるよう協力。	◎
その他	◎第3者による定期点検の実施 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ 未経験者の方へのサポートとして、勉強会を2ヶ月に1回程度行い、研修を行う。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ 共通のCADおよび共通の仕様書作成。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ 定例会において物件名の確認。	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ グループ各社の年間受注計画書と月間受注確認。	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ 新技術等の研修計画を隔月定例会等で行う。	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ 隔月の例会において、情報をグループ全体で共有し、木材・資材のスムーズな流通を確保する。	◎
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 9 今年度の参加目標人数 2	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 7 今年度の参加目標人数 2	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ 省エネ建物の必要性と技術講習会の開催。技術講習会開催リストの配布と参加人数を確認。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ グループ内でモデルプラン等を作成、ゼネラルキー住宅・低炭素住宅等、省エネ住宅等の研修を行う。	○
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ 構造見学会・完成内覧会等を利用して、新技術や開発の研修会を行う。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 森のちから	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県・佐賀県・熊本県・大分県・宮崎県・長崎県・鹿児島県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 九州普請研究会	(結成年) 2013年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0025-0673		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a			
①	地域材利用に関する 共通 ルール(必須)	○ 主要構造材(土台・柱・梁・桁)・二次部材(大引・小屋束・母屋) ○ 主要構造材(地域材、80%以上の九州産)・二次部材(地域材、50%以上の九州産) ○ 九州産(合法木材証明書及び出荷証明書等を添付)	◎
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上	
③	標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	◎
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>合法木材認定事業者 各納品書・証明</p> <p>原木供給業 → 製材業者 → プレカット工場 → 中小工務店 ← 設計事務所</p> <p>『森のちから』九州普請研究会</p> <p>地域材の供給情報と発注状況等の情報交換各種納品書と証明書</p> <p>地域型住宅の設計・構造設計に基づく施工から引渡までの書類作成、勉強会によるサポート</p> <p>地域型住宅の設計・構造設計に基づく現場の監理</p> <p>地域型住宅の設計・構造設計・書類作成の支援、長期優良住宅の認定申請の支援</p>	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ 隔月1回の会議の際に、計画物件・上棟予定・完成予定の報告を行い、価格等の変動時はメール・FAX等にて連絡	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ 計画物件・上棟予定の報告を隔月1回行う。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○ 計画物件・上棟予定の報告を隔月1回行う。	◎
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 120枚	○
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 420坪	○
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 80枚	○
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 50枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○ 福岡八女伝統工芸、手スギ和紙の活用。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○ 伝統的な素材を発掘し活用する。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○ 日射量が多く、多雨な九州に適応した伝統的屋根や庇の形状設計を推奨する。	◎
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○ 地域や住環境・地球環境・自然環境にも配慮した省エネ対策等を推奨する。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○ 街並み形成には各戸の協力が必要であり、設計力の向上の為に勉強会を行う。	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○ 地域に則した和の住まいの勉強会を行う。	◎
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
カ. その他			
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
	東日本大震災の復興に資する取組		
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	○ 同じ九州のグループとして、資材や人手等を被災地優先に行う。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 森のちから	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県・佐賀県・熊本県・大分県・宮崎県・長崎県・鹿児島県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 九州普請研究会	(結成年) 2013 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0025-0673	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。